

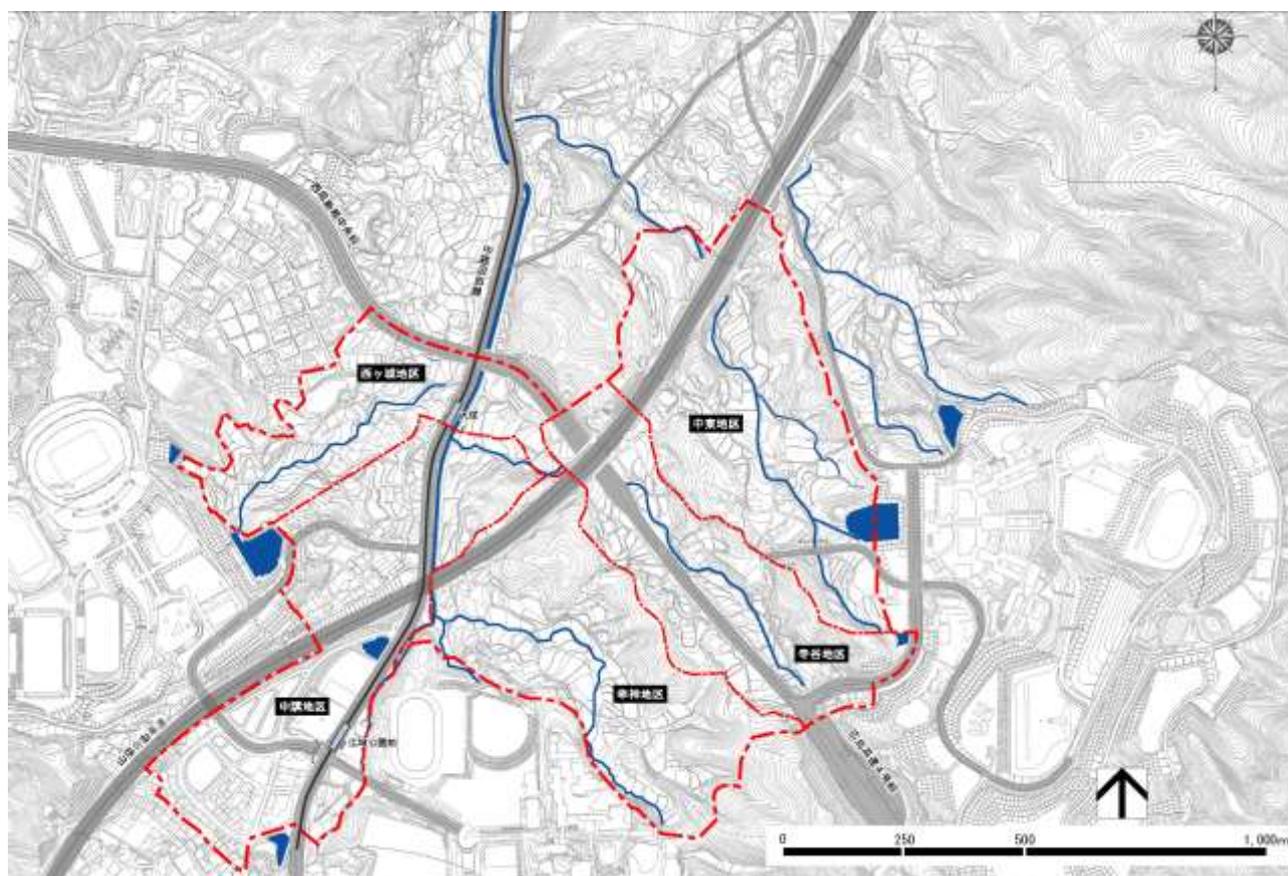
(2) 組別(地区別)・地域の再発見とまちづくりプラン(アイデア提案)

組別(地区別)勉強会等で住民から出された意見を整理・検討しながら、地域の再発見(いいところ、特色、問題点など)やまちづくりプラン(アイデア等の提案)について整理します。

ここで取り上げている組別(地区別)勉強会等は、以下のとおりで、一部地域で平成15年度に行ったワークショップも含んでいます。

- 平成15年実施のワークショップ：寺谷、中東、西ヶ城、中講
- 平成20年実施の組別勉強会：寺谷、中東、幸神、西ヶ城、中講
- 平成21年実施の組別勉強会：寺谷、中東、幸神、西ヶ城、中講

図 大塚上の地区区分(組)



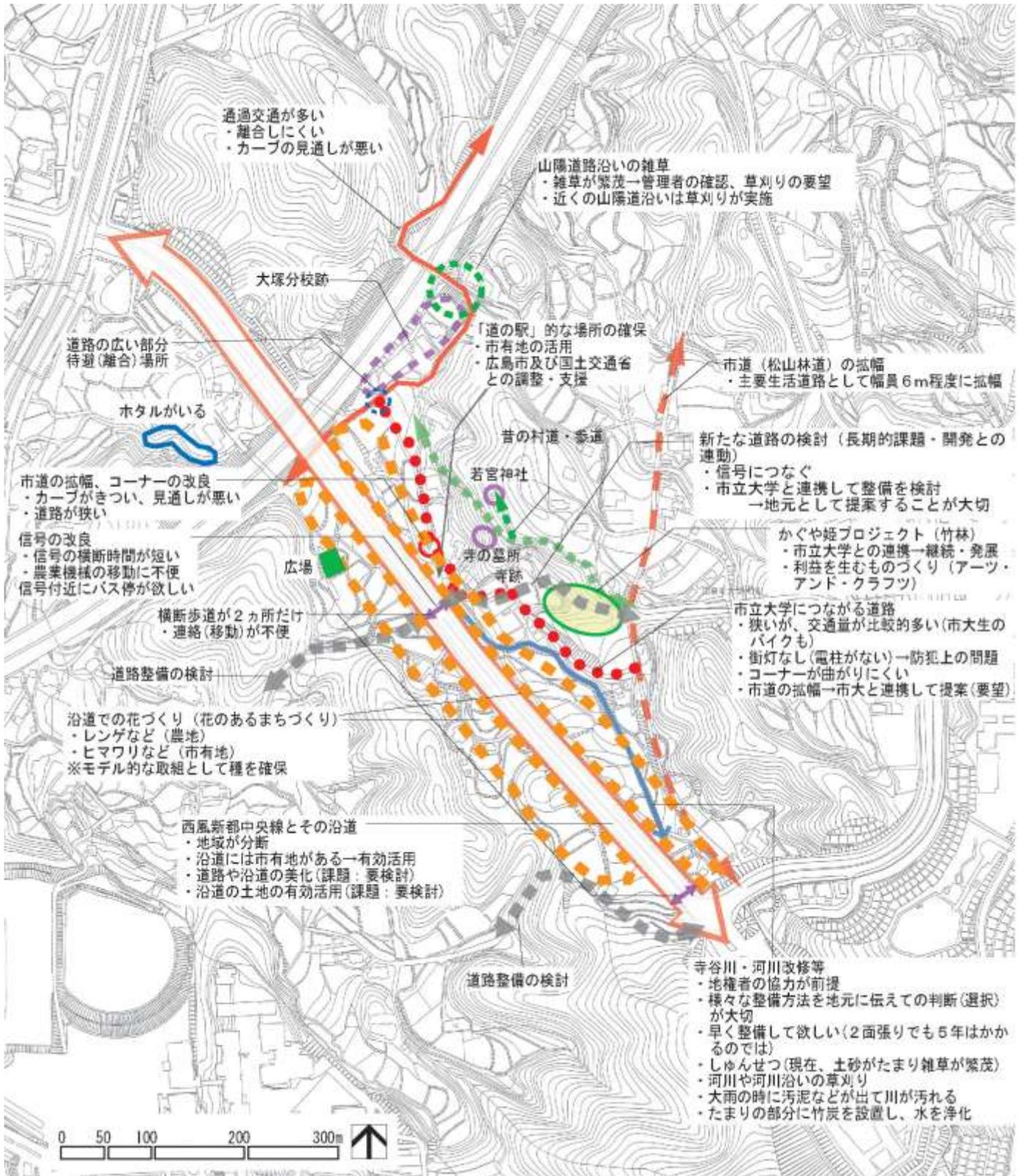
① 寺谷地区

■寺谷：組別勉強会等で出された意見

	いいところ・特色・資源など	問題点・留意点	提案・アイデアなど
平成15年ワークショップ(11/2)	<ul style="list-style-type: none"> ●ホテルがある ●若宮神社 ●寺跡、寺の墓所 ●大塚分校跡 ○自然が豊か、緑が多い、ウグイス・キジなどがある ○田畑がある(農業が出来る) ○のどか ○人と人のふれあいがある ○交通の便がよい ○子どもが比較的多い ○昔は「たわら隠」に登っていた ○昔は医院もあった ○昔、寺谷は大塚の中心(分教場、寺、医院) 	<ul style="list-style-type: none"> ▲通過交通が多い ▲道路が狭い、暗い ▲昔の村道(若宮神社への参道) ▲見通しが悪い ▲農機具(キャタピラー)はゆっくりなので青信号の時間内に渡れない ▲河川改修が行われていない。護岸が崩れかけている(寺谷川) ▲広い箇所、待避場所にもなっている △生活道路が狭い △街灯・防犯灯が少なく、暗い △河川改修が遅れている(寺谷、幸神) △幹線道路で地区が分断 △幹線道路に出にくい △排気ガスなどによる大気の悪化 △イノシシ被害 △農業後継者不足 △生活道路の整備 △街灯の設置 △河川の改修 △信号の延長、装置の整備 △ホテルが棲める(飛ぶ)場所の整備 △集会所の整備 △若宮神社への道の草刈りなど 	<ul style="list-style-type: none"> ★信号の付近にバス停が欲しい
平成20年組別勉強会(10/9)	<ul style="list-style-type: none"> ○大豆の栽培を行っている→特産品づくりの可能性 ○周辺の農地を含めた農家レストランのニーズ(実現していないが可能性はあり) ○かぐや姫プロジェクト、市立大学との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ▲カーブがきつい、道路が狭い ▲信号の横断時間が短い(西風新都中央線) ▲山陽道沿いの雑草→管理者の確認、草刈りの要望 ▲寺谷川が未改修、土砂の堆積や雑草の繁茂、大雨の時に汚泥が流出など ▲市立大学につながる道路:道路は狭いが交通量が比較的多い、街灯なし(防犯上の問題) ▲西風新都中央線が地域の分断要因→信号の改善、沿道利用の検討など △ホテルが出なくなった △鳥獣被害(イノシシ)→対策の必要 	<ul style="list-style-type: none"> ★寺谷川の改修 ★西風新都中央線沿道の土地活用(市有地の活用など) ★信号の改良(時間延長ボタン等) ★新たな道路の検討 ★市立大学との連携:かぐや姫プロジェクト、道路整備など ☆土地区画整理事業のまちづくりは困難→新たなまちづくりが必要 ☆大豆の栽培(現在)→ミソをつくりたい、豆腐も可能、ミソや豆腐と竹(容器)の組合せ
平成21年組別勉強会(7/28)			<ul style="list-style-type: none"> ★市道(松山林道)の拡幅 ・主要生活道路として幅員6m程度に拡幅 ★市立大学につながる市道の拡幅 ★新たな道路の検討(長期的課題・開発との連動) ・信号につなぐ ・市大と連携して提案(要望) ★幸神へつながる道路整備の検討 ★「道の駅」的な場所の確保 ・市有地の活用 ・広島市及び国土交通省との調整・支援 ★かぐや姫プロジェクトの継承・発展 ・市立大学との連携→継続・発展 ・利益を生むものづくり(アーツ・アンド・クラフツ) ★寺谷川の改修 ・たまりの部分に竹炭を設置し、水を浄化 ★西風新都中央線沿道での花づくり(花のあるまちづくり) ・レンゲなど(農地) ・ヒマワリなど(市有地) ※モデル的な取組として種を確保

注：● ▲ ★は地図上に表示してある意見

■組別勉強会等（平成15年・20年・21年）による再発見・アイデアマップ：寺谷地区



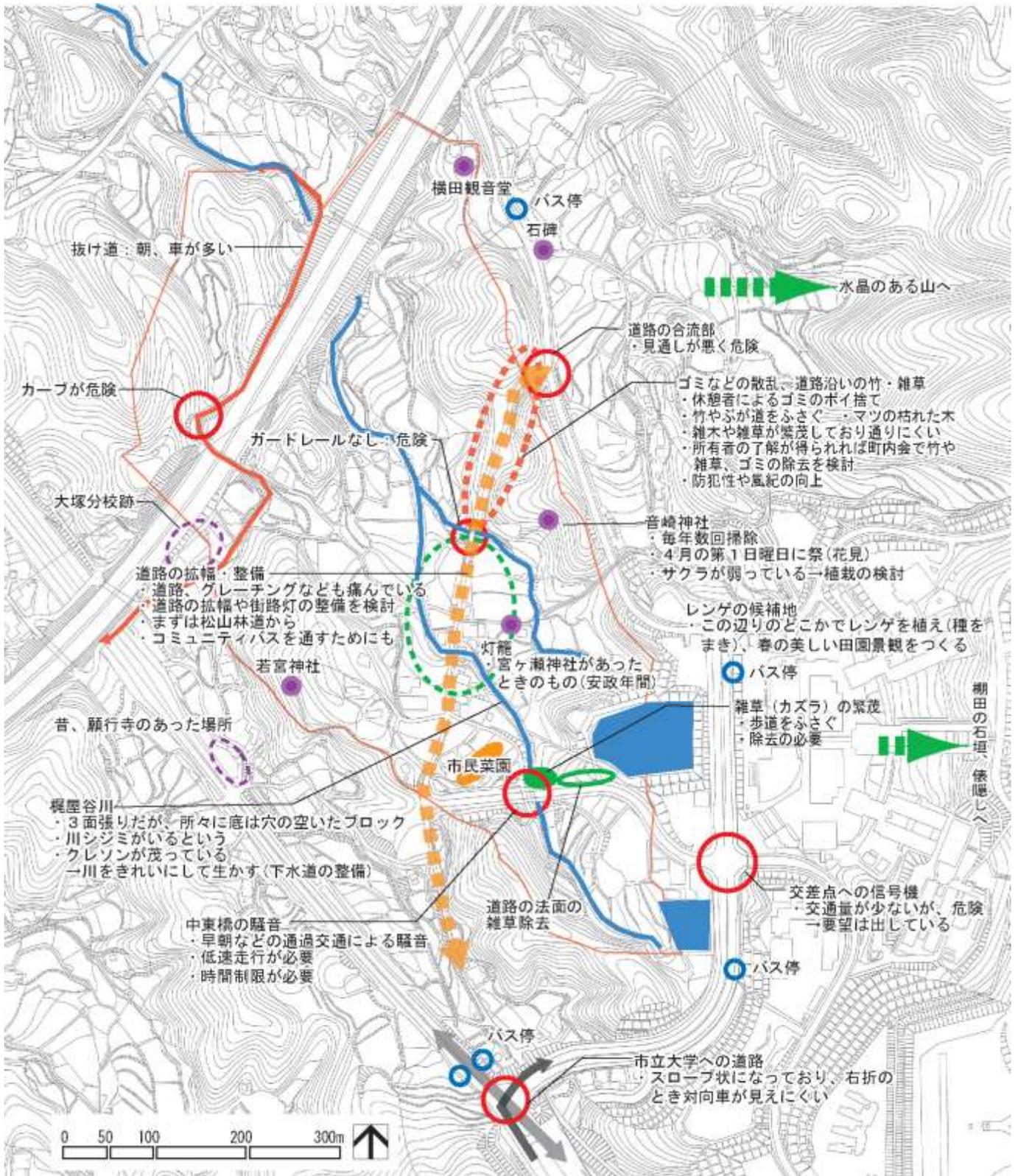
② 中東地区

■中東：組別勉強会等で出された意見

	いいところ・特色・資源など	問題点・留意点	提案・アイデアなど
平成15年ワークショップ(9/21)	<ul style="list-style-type: none"> ○昔、中東、寺谷には地域の中心となる寺、神社があった ○防災上は安心できる ○字馬場ということになっており、室町時代などには馬場があったのでは ○昔、節句(4/3)には山に登っていた ●横田観音堂 ●石碑 ●音崎神社 ●若宮神社 ●灯ろう(立派)：昔、宮ヶ瀬神社があった時のもの(安政年間) ●俵隠し：洞窟(武田山につづく) ●棚田の石積み(市立大学の山) ●昔、願行寺があった場 ●水晶のある山 	<ul style="list-style-type: none"> △最近ホテルを見ない △イノシシ、タヌキが出る △山登りのルートが消えてきた △買い物など、車がないと生活できない △病院がない △スーパー、銀行、郵便局が近くにない △子どもが少ない △積極的な農業経営はない △農地があれている △農業では生活が難しくなっている △大学ができる前は、マツタケがはえていた ▲抜け道は朝、車が多い ▲カーブが危険 ▲橋が狭い ▲見通しが悪い ▲ガードレールなし(危険) 	<ul style="list-style-type: none"> ★信号なし、朝は車が多い(危険)→信号の設置を要望
平成20年組別勉強会(10/29)	<ul style="list-style-type: none"> ○農家レストランなどの候補地としての条件がある(大塚の食材を地元で使用する) ○最近、トラックなどが増えてきたが、基本的には静かなところ 	<ul style="list-style-type: none"> ▲ゴミなどの散乱：休憩者によるゴミのポイ捨て ▲道路の整備：道路やグレーチングの劣化 ▲道路沿いの雑木：竹やぶか道をふさぐ、雑木が繁茂し通りにくい ▲中東橋：早朝などの通過交通による騒音 ▲雑草(カズラ)が茂り歩道をふさぐ→除去の必要 ▲市立大学への道路：対向車が見えにくい ▲道路合流部：見通しが悪く危険 △資材置き場としての利用 △廃棄物の焼却による煙の影響 	<ul style="list-style-type: none"> ☆循環バスの運行 ☆収入を生み出す仕組みづくり ☆エネルギーを持った人さがし(人づくり) ☆農業から別の土地活用への可能性の検討 ☆地元産品の直売所や道の駅のようなものが出来れば ☆下水道の整備 ★道路の拡幅や街路灯の整備 ★所有者の了解が得られれば町内会で生い茂った竹や草の除去を検討(防犯性や風紀の向上の観点からも) ★市立大学近傍の交差点への信号機設置
平成21年組別勉強会(8/11)	<ul style="list-style-type: none"> ●音崎神社の清掃・祭(4月の第1日曜日) ●梶屋谷川：川シジミ、クレソン ●市民菜園 	<ul style="list-style-type: none"> ▲法面の雑草 ▲梶屋谷川のクレソンの繁茂 △荒廃農地、管理が十分でない農地→雑草が茂り、冬は火災が心配 △刈った草の野焼き：煙、臭い、灰 △音崎神社のサクラが弱っている △消防車などが入れない区域 △消防水利が不足した区域 	<ul style="list-style-type: none"> ★道路の法面の雑草除去 ★レンゲを植えて(種をまいて)、春の美しい田園景観づくり ★音崎神社付近へのサクラの植栽の検討 ★松山林道の拡幅・整備 ・コミュニティバスを通すためにも必要 ★川をきれいにしてクレソンを活用(下水道の整備) ☆消火栓、防火水槽の設置

注：● ▲ ★は地図上に表示してある意見

■組別勉強会等（平成15年・20年・21年）による再発見・アイデアマップ：中東地区



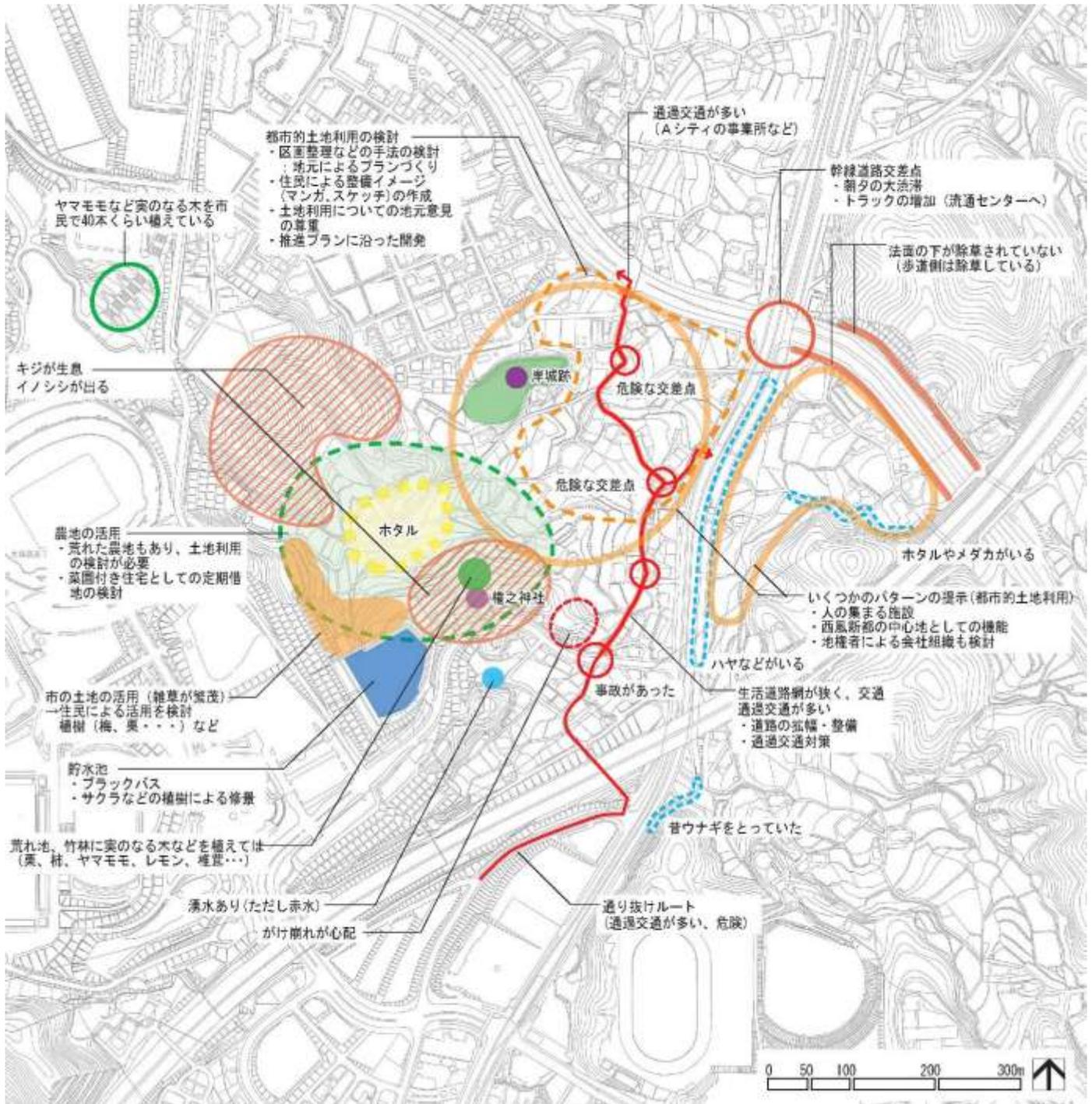
③ 西ヶ城地区

■西ヶ城：組別勉強会等で出された意見

	いいところ・特色・資源など	問題点・留意点	提案・アイデアなど
平成15年ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ○住むのに最高のところ ○緑豊か ○アストラムラインと西風トンネル存在 ○四季を感じる草花：つくし、タンポポ、彼岸花、アザミ、ススキなど →生かしたい ○内科、歯科がある ○昔は柿の木に冬まで実が付いていた →今はカラスなどがつく ○鉄塔の下には天狗岩がある 	<ul style="list-style-type: none"> △道路が狭い △バスの便が悪い △公園を作るのなら使いやすいように △耳鼻科、眼科なし △井戸水の水質が悪化 △雨で田が崩れることもある △外で子どもが遊んでいない △パークフロントができて、あいさつがなくなった △パークフロントができて、ステテコで歩きにくくなった △カラスの悪さが多くなった 	<ul style="list-style-type: none"> ★信号なし、朝は車が多い(危険)→信号の設置を要望
平成20年組別勉強会(11/13)	<ul style="list-style-type: none"> ○孫のための無農薬農法(ハゼ米、レンゲなど) ○あぜを工夫するなど楽しみながら付加価値をつける ●ホテルが多く飛ぶ場所 	<ul style="list-style-type: none"> △後継者不足により、農地管理が困難 △鳥獣対策：イノシシ △幹線道路における交通需要予測と現状の比較 △農地の管理、草刈りが大変 ▲生活道路網が狭く、悪い →拡張・整備を ▲荒れた農地もあり、土地利用の検討が必要 ▲幹線道路の交差点：朝夕の大渋滞、トラックの増加 	<ul style="list-style-type: none"> ☆「道の駅」のような施設による、本物・安全な物の提供 ☆朝市などの場所の確保 ☆今後の高齢化や次世代のことを考えたまちづくり ☆推進プランに沿った、市主導による開発の推進 ★生活道路の整備と通過交通対策 ★都市的土地利用の検討 ★区画整理などの手法の検討：地元によるプランづくり ★住民による整備イメージ(マンガ、スケッチ)の作成 ★土地利用についての地元意見の尊重 ★農地の活用 ★菜園付き住宅としての定期借地の検討 ★サクラなどの植樹による修景
平成21年組別勉強会(10/6)	<ul style="list-style-type: none"> ●キジが生息 ●荒地、竹林に実のなる木(栗、柿、ヤマモモ、レモン、椎茸) ●ヤマモモなど実のなる木を40本くらい 	<ul style="list-style-type: none"> △大塚のまちづくり(土地活用)は西ヶ城から始めないと動かないのでは △土地の売買が進むと区画整理は難しくなる ▲朝夕の通過交通 ▲イノシシが出る ▲法の下が除草してない(歩道側は刈ってある) 	<ul style="list-style-type: none"> ☆通学路の表示 ☆一方通行許可制の検討 ☆市側から土地活用の提案はだせないか ☆地区住民作成の整備構想案の検討 ☆市民菜園 ☆タタキ台を作って欲しい ★いくつかのパターンの提示(都市的土地利用) 人の集まる施設 <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーなどの利便施設 ・農家レストラン ・総合病院 ・スポーツセンター(ジム、プールなど) ・レディースビル ・パークアンドライドの拠点(バス、アストラムライン) ・参考：東原のフレスタ(上層はマンション) 西風新都の中心としての機能 地権者による会社組織も検討 ★市の土地の活用(雑草が繁茂) →住民による活用の検討 植樹(梅、栗…)など

注：● ▲ ★は地図上に表示してある意見

■組別勉強会等（平成15年・20年・21年）による再発見・アイデアマップ：西ヶ城地区



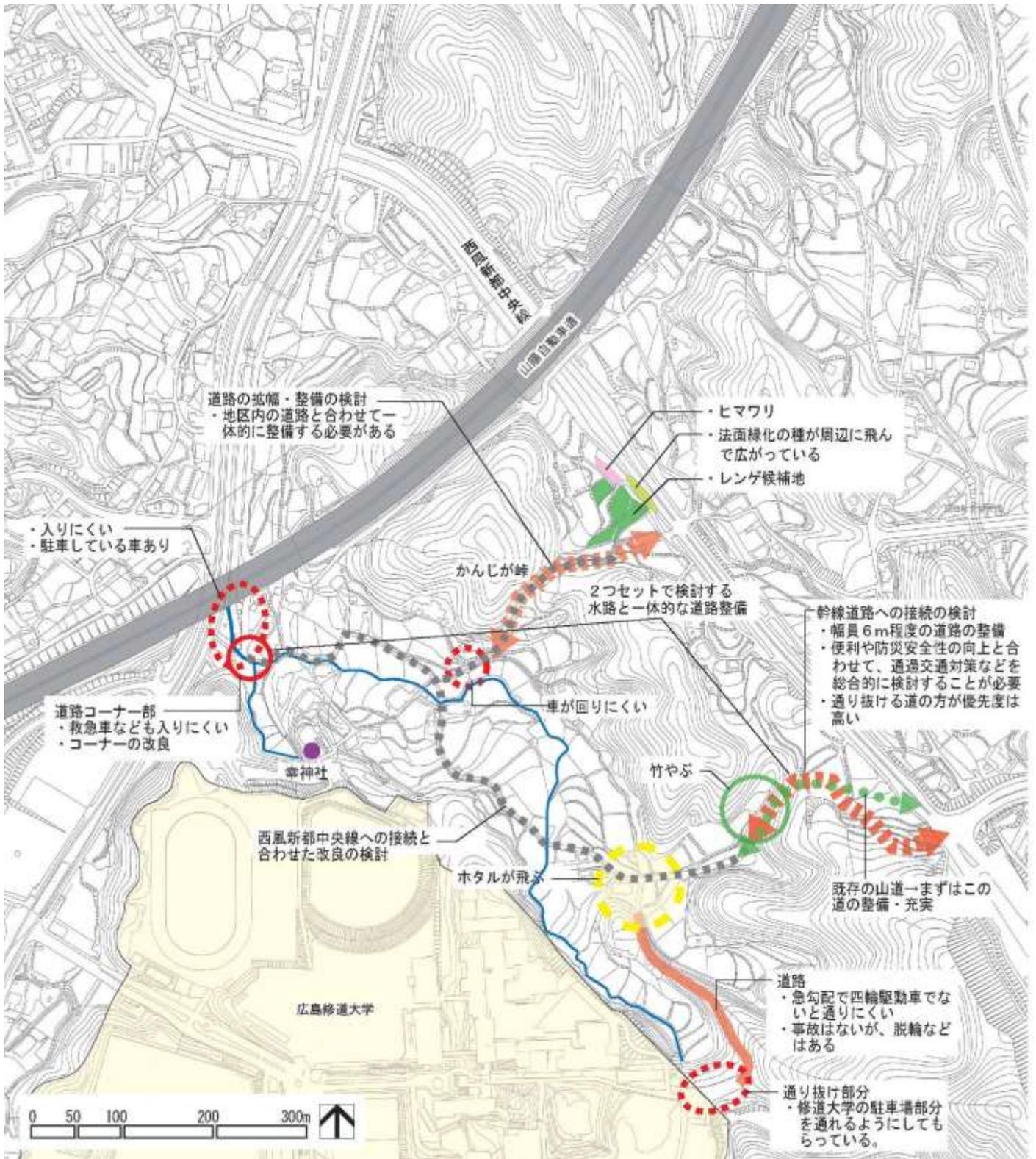
④ 幸神地区

■幸神：組別勉強会等で出された意見

	いいところ・特色・資源など	問題点・留意点	提案・アイデアなど
平成20年ワークショップ(11/15)	<ul style="list-style-type: none"> ○昔はゴリ、ウナギがとれた(→△今はいない) ○無人市があった ○市立大学の学生のみこしかつぎ ○自然や風景の美しさ ○静けさ ●ホテルが飛ぶ場所 	<ul style="list-style-type: none"> △空き家は1軒 △イノシシ害への対策→トタン塀、電気柵 △一枚一枚の田んぼ(棚田)が狭い △未利用農地がイノシシの運動場となっている △昔は無人市があったが、収入が無く止めている △団地の人は産直市の要望が多い △農業の後継者がおらず、10年後に農家を続けている家は少ないと予想される △保水力の低下と、水量が少なくなってきたり、田を作るのが精一杯 △一時エビが大量発生した △魚がいなくなった △緊急車両が入ってきても、身動きが取れない道が多い △道路が狭く、普通車では入りにくい ▲西風新都中央線へのアクセスは、地区内の道路と合わせて一体的に整備する必要がある(通過交通の流入への対策、通過交通を抑制する対策も必要) ▲幹線道路(西風新都中央線)への接続→幅員6m程度の道の整備…便利になる、防災安全性が高まる。一方で通過交通が増加することの検討(対策)が必要 当面は歩行者用通路の整備 ▲修道大学への道は、急勾配で四輪駆動車でないと通りにくい(事故はないが、脱輪などはある) ▲上記の坂からの通り抜け部分での修道大学の協力(車を置かないようにしている) ▲道路・通行の問題：入りにくい場所(駐車などもあり)、狭いため車が回りにくい場所 	<ul style="list-style-type: none"> ☆修道大学によるダッシュ村づくりのような活動 ☆土蔵の活用の希望あり(修道大学の先生) ☆農業を含め経営を実践的に学ぶ場・体験交流としての活用(循環：作物づくり・ものづくり、マーケティング・情報発信・販売・交流など) ☆修道大学の図書館を活用する ☆一斉清掃への学生の参加募集 ☆学生課(市立大学)に祭りへの参加協力を申し入れ ☆修道大学、市立大学の学食での食材利用(米など)
平成21年組別勉強会(9/8)	<ul style="list-style-type: none"> ●ひまわり ●法面緑化の種が周辺に飛んで広がっている 	<ul style="list-style-type: none"> △下水道はぜひ必要 △一部下水道を接続している理由 △水が少ない：農業用ため池が欲しい △修道大学の調整池はため池機能なし △市立大学の調整池はため池機能あり △通過交通への配慮(対策) △前回(区画整理)のイメージが残っている。きちんとした説明をしておく必要がある ▲地区の骨格となる道路の改良 ▲道路コーナー一部 ・救急車なども入りにくい(→改良：右欄) 	<ul style="list-style-type: none"> ☆水路と一体的な道路整備 ★レンゲ候補地 ★2つセットでの検討 ★通り抜ける道の方が優先度は高い ★コーナーの改良 ★既存の山道→まずはこの道の整備・充実 ★西風新都中央線への接続と合わせた改良の検討

注：● ▲ ★は地図上に表示してある意見

■組別勉強会等（平成・20年・21年）による再発見・アイデアマップ：幸神地区



⑤ 中講地区

■中講：組別勉強会等で出された意見

	いいところ・特色・資源など	問題点・留意点	提案・アイデアなど
平成15年ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ○住むのに最高のところ ○内科、歯科がある ○アストラムラインと西風トンネル存在 ○四季を感じる草花：つくし、タンポポ、ひがん花、アザミ、ススキなど→生かしたい ○緑豊かな ○昔は柿の木に冬まで実が付いていた →今はカラスなどがつく ○鉄塔の下には天狗岩がある ●ホテルやメダカ、ハヤなどがある ●昔、ウナギをとっていた場所 ●岸城跡 ●湧き水（ただし赤水） ●権之神社 	<ul style="list-style-type: none"> △道路が狭い △バスの便が悪い △公園を作るのなら使いやすいように △耳鼻科、眼科なし △井戸水の水質が悪化 △雨で田が崩れることもある △外で子どもが遊んでいない △パークフロントができて、あいつがなくなった △パークフロントができて、ステテコで歩きにくくなった △カラスの悪さが多くなった ▲崖崩れが心配 ▲通過交通が多い ▲危険な交差点 ▲通り抜けルート 	
平成20年組別勉強会(12/11)	<ul style="list-style-type: none"> ○便利で暮らしやすい所 ○他と比べて道が広い(道路整備時に土地提供をした) ○西風新都の中央に位置する ○広域公園や広島修道大学に隣接した地区 	<ul style="list-style-type: none"> △農業の継続は難しくなり、家庭菜園程度になる △田の維持管理（草刈り、水の管理）と農地の活用 △西風新都の山地部開発が進むと大塚にも開発圧力がくる（虫食い開発にならないよう） △土砂災害の警戒区域における土地利用の制限 △市街化区域と市街化調整区域の比較が必要 △各種制度などを勉強しておく必要がある △市街化調整区域などでの下水への接続（ガソリンスタンドの洗車後の汚水など） ▲事故の多い交差点、過去に死亡事故もあった交差点 ▲離合しにくい道路 ▲抜け道利用（通過交通）が多い ▲スポット的な市街化調整区域の存在 	<ul style="list-style-type: none"> ☆区画整理とまちづくりが繋がるイメージ→ネーミングの工夫 ☆都市型住宅や公益施設（道の駅）などの立地 ☆定期借地権での田園住宅（菜園付住宅）の整備 ☆農業相続の期限が切れる頃、土地利用の検討が必要 ☆リーダーの必要性和それをサポートする人材育成 ☆様々な人材の参加（時にはバカになる事も必要） ☆ある程度限定したエリアでの検討（前回は120haと広がった） ☆川の活用（ホテルが出る、魚が棲めるきれいな川に） ★整備イメージの検討 ★市街化調整区域への編入の検討・要望 ★広域公園の管理道の一般開放について陳情 ★整地して駐車場などとして活用（広域公園前） ★都市的土地利用（集合住宅など）の検討 ★学生によるポイ捨てが多い
平成21年組別勉強会(11/11)	<ul style="list-style-type: none"> ○便利(平坦でアストラムラインに近く、バスにも乗れる) 	<ul style="list-style-type: none"> △農業を続ける自信がない →土地活用を考えたい △アンケートでは、公共施設・医療施設・産直市 ▲地元が動かないと市街化区域への編入はむずかしい ▲ガソリンスタンドの洗車排水の問題→現状では下水道につなげない（市街化調整区域） ▲交通量の多さ、トラックの多さ →幹線道路沿道：騒音、排ガス、振動 	<ul style="list-style-type: none"> ★市街化区域については、中講全体で協議したい（勉強、検討） ・次回の見直しで市街化区域に要望 ・市街化区域要望の範囲は具体化の段階で地権者と調整 ・市街化区域と市街化調整区域の違いの確認（勉強） ☆市民菜園も協議したい ☆交番の設置が必要（大塚駅周辺） ☆自分たちで考えて何かを見出していきたい ☆土地活用の方法とセットで検討 ☆オリンピックを考慮した取組の検討 ※下水道の説明会・勉強会（12月17日）

注：● ▲ ★は地図上に表示してある意見

■組別勉強会等（平成15年・20年・21年）による再発見・アイデアマップ：中講地区

